

# 1. 自己評価及び外部評価結果

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	第4675800090号
法人名	社会福祉法人 昭芳会
事業所名	グループホーム 芳明庵
所在地	始良郡湧水町般若時358番地 0995(75)4622
自己評価作成日	平成23年10月1日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

利用者の立場に立ったケア(パーソンセンタードケア)とはなんだろうか。など言葉使いや態度・音など日常生活の中で職員が考えながら、振り返ることが出来る。法人全体で利用者の為に日々、努力している。  
「生活の場」であること医療的な面については協力医療機関と連携が取れるように利用者が安全で安心して暮らすことが出来る。  
等グループホームは豊かな自然の中で地元のおいしいお米や手作りのお味噌など安全な食材を利用して郷土の献立を利用者と共調理を行なっている。  
近隣に住まいの家族が気軽に来れて県外の家族は利用者と一緒に過ごせるように宿泊できるように環境を整えている。  
防災については併設施設と連携している。又、水害については高台にあるので災害にあう危険性が低い。

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.wam.go.jp/">http://www.wam.go.jp/</a>
-------------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島県鹿児島市下荒田2丁目48番13号
訪問調査日	平成23年11月10日

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

旧吉松町の自然環境に恵まれた地に、開放的で広々とした造りの「芳明庵」が建てられている。ホームから眺められる周辺の景色は四季を感じられ、ハングライダーが空を舞う光景も見られる。広い敷地には利用者のアドバイスをもらいながら家庭菜園が作られ、収穫を楽しんでいる。  
法人は他にも医療機関、特別養護老人ホーム、デイサービス、訪問介護、在宅介護支援センターや居宅介護支援センターを運営して、地域の高齢者福祉の一端を担っている。また、法人は地域の避難場所としての緊急時の受け入れも行っている。  
同敷地内にある特別養護老人ホームとは利用者の見守りと災害対策の協力体制が築かれており、合同での避難訓練や夜間帯の安全確認などは夜勤時の職員の不安軽減にも繋がっている。また、デイサービスは利用者が気軽に遊びに行き、レクリエーションを楽しんだり、友人知人との交流の場になっている。  
ホームを「生活の場」として捉え、各居室にトイレや洗面所を設け、プライバシーの確保と拘束のない自由な暮らしを支援している。広い居室はそれぞれに使い慣れた家具やテレビなどの生活必需品が持ち込まれ、利用者は思い思いに過ごし、ときには家族が宿泊することもある。  
「生活主義」「五感主義」「よりよく生きる」を理念に掲げ、毎月のホーム便りも理念をテーマに職員が交代で作成するなど、理念が浸透しており、理念に沿ったケアの実践に取り組んでいる。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	法人の理念「生活主義」「五感主義」「よりよくいきる」の3大理念を共有し、事業方針の柱として実践に取り組んでいる。	「よりよく生きる」の理念に「どんな時でも最期まで私らしく生きる地域の中で」と補足をしている。毎朝の申し送り時や援助会議で理念を確認することもあり、ケア方針の統一を図っている。また、ホーム便りは理念をテーマにして職員が交代で作成している。理念は玄関に掲示してパンフレットにも明記している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	利用者が住んでおられた地域の敬老会参加や小学校の運動会見学など地域と連携をとり参加している。	地域の避難先にもなっており、台風のときなど近隣の方々を受け入れている。また、隣接するデイサービスを利用する友人知人が気軽に遊びに立ち寄ってくれる。小中学校の体験学習の受け入れも行っている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	運営推進会議の目的として、ネットワークづくりを掲げているので、会議の中でも地域の高齢者の暮らしの支援について取り組んでいる。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月1回、運営推進会議を計画、実行している。利用者の状況やサービス内容を報告している。	民生委員、第三者委員、利用者、家族、行政などの参加で開催している。ホームの現状報告や研修報告などを行って、地域との交流や感染症についてなどが話し合われている。これまではホーム側からの報告が主であったが、参加者からの助言や提案なども頂けるようになり、サービス向上に活かされる運営推進会議が行われるようになってきた。	

鹿児島県 グループホーム芳明庵 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる</p>	<p>運営推進会議の委員に市町村関係者を2名選出して協力していただいている。</p>	<p>相談や報告などを積極的に行って、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>研修の参加や会議で身体拘束について学び正しく理解し、職員間で身体拘束をしないケアの取り組みを共有している。</p>	<p>法人の方針として身体拘束をしないケアの実践に取り組んでいる。身体拘束廃止委員会を設置して研修などで職員全員が拘束について理解をし、自由で安全な生活を支援している。日中は玄関や居室など施錠せずに法人全体で利用者の状態を把握して、連携を図っている。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>高齢者虐待防止法について、研修の参加を行い周知できるようにしている。職員のストレスが虐待に結びつかないように、職員間の様子に気をつけている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>職員が研修に参加して、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学び、事業所で研修報告を行っている。</p>		

鹿児島県 グループホーム芳明庵 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	利用契約時に利用契約書・重要事項契約書で説明を行い、同意を得ている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関に「苦情受付簿」を設置して誰でも記入できるようにしている。事業所では苦情受付担当者を窓口にして、苦情処理委員会・第三者委員会で審議を行っている。事故報告書なども苦情として処理している。	重要事項説明書にも窓口を明記し、法人の第三者委員も設けている。日常の面会時や電話連絡時などに、家族から要望などを聞くように努めている。法人全体の夕涼み会やホームの忘年会、花見などにも家族の参加が多いため、今後は家族が打ち解けやすい場として意見・提案を聞き出せるように活用を検討している。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	日々の援助の内容や業務の内容に応じて、援助会議で検討するようにしている。	毎朝夕の申し送り時や毎月の援助会議などで職員の意見・提案について話し合っサービス向上に反映させている。職員は毎年、個々にチャレンジシートを作成して目標に向けて取り組んでいる。また、法人全体で資格取得の支援を行っており、実践指導や勉強会も行っている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	平成23年度から個人の目標を決めて「チャレンジシート」を作成している。		

鹿児島県 グループホーム芳明庵 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>法人の取組みとして資格取得を掲げ、それに向けた勉強会や研修の参加の機会を設けている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>「グループホーム連絡協議会」の交流会や研修に参加して、サービスの向上に取り組み、湧水町の同サービス事業所とは連絡を密に行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>家族やケアマネジャーからの情報や、本人の物語を基に本人に寄り添って、事実や本人の言葉や仕草から何を求めているかを検討している。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>担当ケアマネジャーから情報を得ている。面会に来られたときはケース記録を見ていただき、不安な事や家族が求めている事を聴くように努めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>併設施設や協力医などから可能な限りのサービスの検討を行っている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>利用者個々の有する能力と現存機能を生かした援助に積極的に取り組み、本人を主体とした生活を重視して援助を行っている。</p>		

鹿児島県 グループホーム芳明庵 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会時に本人の表情や言葉などを報告して、家族と共に考えて頂いている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みのある美容室や本人が行かれていた店に買い物に行き、馴染みのある人と交流が継続できるように援助している。	個々の希望により、自宅訪問や彼岸詣り、なじみの美容室、買い物などに連れていき、関係継続の支援を行っている。また、出身地の敬老会に参加したり、隣接するデイサービスを利用する友人知人が遊びに立ち寄ってくれるなどなじみの人や場との交流が途切れないように支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	廊下や玄関などに椅子をおいて誰でも集まることが出来る環境を整えている。又、入居者同士が関わる事が出来るように言葉掛けを行うなどのアプローチをして、孤立しないように支援している。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約終了後も家族の希望を聞き、ニュースレターの発行を1年間行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	パーソンセンタードケアを基に利用者の言動やしぐさ(事実)を分析して計画している。	日頃から利用者に問いかけるように心がけ、会話や表情の変化を見極めて利用者の思いや意向を把握するように努めている。また、利用者の中では、自己決定が出来るようにするための介護計画をあえて作成し、職員の統一したケアのもと、実現できるように支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	家族や担当ケアマネジャーからの情報を基に記録している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	個々に合わせて日常生活を支援して、記録に残して情報の共有化を図っている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	担当者会議や援助会議の意見を反映して、本人がよりよく暮らすために、現状に即した介護計画作成を行っている。	なじみの美容室の利用や外来リハビリなど、これまでの生活やなじみの関係継続の支援をサービスに取り入れている利用者もいる。また、個々の出来ることなどその人らしい介護計画を作成している。定期的な見直しと変化があればその都度見直しを行って、現状に即した介護計画を作成している。	



鹿児島県 グループホーム芳明庵 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子を個々のケース記録に残し、情報の共有を図り介護計画の見直しに活かせる取組みを行っている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化  本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	法人全体で可能な限り支援できるか検討する場はある。		
29		○地域資源との協働  一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	運営推進会議を通して協力していただく支援体制がある。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援  受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居時に家族・本人と協議を行い、かかりつけ医を決定している。医療機関との協力関係は出来ている。	本人、家族の希望するかかりつけ医の受診を支援している。協力医療機関やかかりつけ医との連携は図られており、利用者の健康管理が密に行われている。	

鹿児島県 グループホーム芳明庵 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	介護職員は利用者の体調に異状を感じた時や通常の状態を在宅診療の看護師に報告を行い、適切な受診や看護が受けられるよう情報の提供を行っている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	入院しても認知症の進行が予想されている場合など協力医と協議して、介護できるようにしている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	本人・家族の要望は入居時や状態変化時などその度に終末期のありかたを協議するようにしている。すでに重度化になった人の受け入れやみとりの経験がある。	重度化や終末期に向けたホームの方針は入居時に説明している。本人、家族の希望による看取りの経験もあり、職員も方針を共有してチームとして支援している。急変時の対応については勉強会も行って、職員が不安なく支援に取り組めるようにしている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	法人としての取組みがされている。		

鹿児島県 グループホーム芳明庵 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年2回昼間帯・夜間帯の設定で訓練をおこなっている。水害や災害時の受け入れ施設となっている。地域の人には運営推進会議を利用して周知していただいている。</p>	<p>定期的な訓練を行っており、隣接する法人の施設とは協力体制を築いている。施設は地域の緊急時の避難場所にもなっている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	プライバシーやその人の尊厳については言葉掛けや自己決定・選択が出来るように支援している。特に法人全体で尊厳については取り組んでいる。特に新人研修の中で重視している。	個々に応じた声かけや、プライドを損なわないような言葉かけに配慮しながら対応している。特に尊厳に配慮した対応を心がけるように取り組んでいる。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	「～していただけませんか？」などの言葉掛けや、自己決定が出来るように支援している。本人の言葉だけでなく本当のニーズとは何かを日々のケアの中で協議している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員は一人一人のペースを把握して、その人らしさの大切さを共有し、その人らしい生活ができるよう支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	職員は個々の身だしなみやおしゃれを把握して、その人らしさが維持できるよう支援している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	献立から入居者と話しを行い、季節の物や好みの物をつくるようにしている。現在は入居者の方で食事作りが得意な人と行っている。	個々の力量に応じて出来ることは職員とともにやっている。また、家庭菜園やそば打ち、梅干し、干し柿、団子作りなど利用者に教わりながら行っている。ときには気分を換えて、ソーメン流しやお弁当持参で花見などにも出かけている。誕生日は利用者の希望に沿った献立にしている。	

鹿児島県 グループホーム芳明庵 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	飲水量のチェックを行い、飲水の困難な人にはゼリーを作って水分が確保できるよう取り組んでいる。献立はバランスよくとれるよう配慮を行っている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	現存機能の活用や一人ひとりの生活習慣を大事にしながら、口腔ケアの援助を行っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	一人ひとりの現存機能を活用し今までの生活習慣を大事にして、可能な限り排泄はトイレを使用していただいている。	各居室にトイレがあり、利用者のプライバシーが保たれている。可能な限り、おむつの使用はせずに職員のコマメな声かけ誘導によるトイレでの排せつを支援している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘予防として、飲み物を準備をしたり、献立の工夫を行っている。運動についても散歩などアプローチを行っている。		

鹿児島県 グループホーム芳明庵 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	当事業所は温泉である。曜日・時間は特に決めずに、一人ひとりの今までの生活習慣や希望に添った入浴の支援を行っている。	温泉のためにいつでも入浴できる体制が整っている。基本は毎日、時間も午後からとなっている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	居室は個室であることや、廊下・リビングなどに椅子やソファを置いていつでも誰でも休息できるようにしている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個々の服薬説明書を個人のケースに添付して、職員は薬の目的や副作用を考慮できるようにしている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人ひとりの現存機能を活かし、今までの生活歴を大事にして役割や楽しみを持って生活できるように環境を整え、支援を行っている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	買い物や散歩などを日常生活の中に取り入れ、又地域の行事にも参加できるよう家族と相談して支援を行っている。	個々の気分や天候に応じて、畑の収穫や散歩、買い物同行など出かける機会を設けている。また、地域の敬老会、外食、季節に応じて花見や運動会見学、イルミネーション見学なども楽しめるように外出支援を行っている。ときには、法人の施設での催し物の見学にも出かけている。	

鹿児島県 グループホーム芳明庵 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>家族と相談して個々の能力に合わせた工夫を行い、お金の大切さを重視して行っている。金銭管理については家族と協議して、ケース記録に領収書を貼り付けるなど行っている。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>電話は希望される方には、居室から個別の電話を設置できるようにしてある。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>音・光・温度などに配慮し、落ち着いた雰囲気を作れるように工夫している。花やしつらえなど季節を感じられる工夫をしている。</p>	<p>全体的に広々としており、リビングや廊下はところどころにソファやいすが置かれ、休憩場所や日光浴で利用者が思い思いに過ごせるように配慮されている。共用空間のリビングの窓も大きく、開放感がある。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>玄関や廊下などに椅子・ソファをおいて、誰でも集まることができて、思い思いに過ごせる環境を整えている。</p>		

鹿児島県 グループホーム芳明庵 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室には家族と相談して、馴染みのあるタンスやこたつなど持ってきてもらって居心地良く過ごせるよう、工夫している。</p>	<p>居室は広々として、庭に面しているので開放感がある。入居の際に使い慣れたものや、なじみの物品を持ち込んでもらえるように家族に説明しており、テレビやタンス、ソファ、冷蔵庫、テーブルなどが持ち込まれている。季節に応じて、扇風機やホットカーペットなどで居心地良く過ごせるように配慮されている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>居室入り口には表札や目印をつけて分かる環境づくりを行っている。廊下にてすり、居室にテーブルや椅子を置くなど、個々に合わせた家具の配置を行っている。</p>	/	/



**V アウトカム項目**

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員と一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

鹿児島県 グループホーム芳明庵 1ユニット

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

鹿児島県 グループホーム芳明庵 1ユニット

66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない